

平成 2 1 年第 8 回
上小阿仁村議会定例会
会 議 録

平成 2 1 年 1 2 月 1 6 日 (開会)

平成 2 1 年 1 2 月 1 8 日 (閉会)

平成 21 年第 8 回上小阿仁村議会定例会会議録（第 1 号）

○招集（開会） 年月日 平成 21 年 12 月 16 日

○招 集 場 所 上小阿仁村議会議場

○会議年月日（時間） 平成 21 年 12 月 16 日（10 時 00 分）

○出席議員

1 番	齊 藤 鉄 子 君	2 番	小 林 信 君
3 番	長 井 直 人 君	4 番	石 川 富 三 君
5 番	鈴 木 米 雄 君	6 番	中 田 吉 穂 君
7 番	北 林 甚 一 君	8 番	武 石 善 治 君

○欠席議員 な し

○地方自治法第 121 条の規定により説明のため、会議に出席した者の職氏名

村 長	小 林 宏 晨
副 村 長	鈴 木 健 作
総務課長兼診療所事務長	鈴 木 義 廣
住 民 福 祉 課 長	鈴 木 壽 美 子
産 業 課 長	小 林 悦 次
主 幹 兼 建 設 課 長	加 賀 谷 敏 明
特別養護老人ホーム施設長	武 石 辰 久
教 育 長	小 林 茂
教育委員会事務局長	田 中 文 隆

○本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	萩 野 謙 一
議 会 書 記	小 林 京 子

○村長提出議案の題目 別紙のとおり

○議員提出議案の題目 な し

○議 事 日 程

- 第 1 会議録署名議員の氏名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 行政報告
- 第 4 一般質問
- 第 5 議案第 1 号 平成 21 年度上小阿仁村一般会計補正予算について
- 第 6 議案第 2 号 平成 21 年度上小阿仁村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について
- 第 7 議案第 3 号 平成 21 年度上小阿仁村国民健康保険診療施設勘定特別会計補正予算について
- 第 8 議案第 4 号 平成 21 年度上小阿仁村特別養護施設特別会計補正予算について
- 第 9 議案第 5 号 平成 21 年度上小阿仁村農業集落排水事業特別会計補正予算について
- 第 10 議案第 6 号 平成 21 年度上小阿仁村下水道事業特別会計補正予算について
- 第 11 議案第 7 号 平成 21 年度上小阿仁村介護保険事業勘定特別会計補正予算について
- 第 12 議案第 8 号 平成 21 年度上小阿仁村後期高齢者医療特別会計補正予算について
- 第 13 議案第 9 号 平成 21 年度上小阿仁村農業集落排水事業特別会計への繰入れについて
- 第 14 議案第 10 号 平成 21 年度上小阿仁村下水道事業特別会計への繰入れについて
- 第 15 陳 情

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○会議録署名議員の氏名

1 番 齊 藤 鉄 子 君

2 番 小 林 信 君

10 時 00 分 開会

○議長（武石善治） ただいまの出席議員は 8 名であります。

定足数に達しておりますので、これより平成 21 年第 8 回上小阿仁村議会定例

会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。

諸般の報告

○議長（武石善治） 日程に入る前に諸般の報告を行います。

この件につきましては、議員各位の手元に文書を配布しておりますので、これにて諸般の報告といたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（武石善治） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により議長において、1番 齊藤鉄子君、2番 小林信君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（武石善治） 日程第2 会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から12月18日までの3日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（武石善治） 異議なしと認めます。よって、会期は3日間と決定いたしました。

説明員の通告

○議長（武石善治） 説明員の通告がありますので報告いたします。

副村長、鈴木健作君。総務課長兼診療所事務長、鈴木義廣君。住民福祉課長、鈴木壽美子君。産業課長、小林悦次君。主幹兼建設課長、加賀谷敏明君。特別養護老人ホーム施設長、武石辰久君。代表監査委員、山田貞雄君。教育長、小林茂君。教育委員会事務局長、田中文隆君。

なお、代表監査委員の山田貞雄君は、本日は欠席です。

日程第3 行政報告

○議長（武石善治） 日程第3 村長より、行政報告についての発言を求められておりますので、これを許します。村長。

（小林宏農村長 登壇）

○村長（小林宏農） 行政報告をさせていただきます。

まず、総務課関係でございますが、1番目に平成21年度補正予算につきまして

て、ご報告申し上げます。

今定例会提出の平成 21 年度一般会計補正予算は、総額 1,159 万円の追加補正で、補正後総額は 33 億 1,412 万 6,000 円となります。歳出予算で追加した主なものは以下のとおりでございます。

また、特別会計は次の 7 会計について総額 802 万 1,000 円の追加補正予算となっておりますので、よろしくご審議いただきたいと思っております。その内訳につきましては、以下のとおりでございます。

2 番目の叙勲受章につきましてもでございますが、このたび、秋の叙勲において村田洋一氏が村職員、村収入役としての長年のご功績が認められ、地方自治功労として端宝双光章を受章されました。これまでのご功績に対しまして敬意を申し上げるとともに、衷心より祝意を表するものであります。

3 番、平成 21 年度上小阿仁村功労者表彰についてでございます。上小阿仁村表彰規則に基づきまして、去る 11 月 30 日表彰審査会を開催し、今年度の一般表彰被表彰者について諮問したところ、次の 4 名の方の答申をいただきましたので、平成 21 年度上小阿仁村功労者表彰式典を 12 月 22 日に開催し、表彰する予定であります。

民生功労者、齊藤ヨシエ氏。産業功労者、山形正雄氏。地方自治功労者、小林修二氏。民生功労者、小嶋安雄氏の各氏でございます。各位の長年のご尽力に感謝申し上げますとともに、心より祝意を表明いたします。なお、表彰式とその後の表彰受賞祝賀会、これは特別職合同忘年会になっているわけですが、これにはできるだけ多くの村民の皆様がご参加なされますようお願い申し上げます。

4 番、人事関係についてでございますが、平成 21 年度末で退職する職員は 7 名。課長職 2 名、課長補佐職 2 名、係長職 3 名であります。また、先般の職員採用試験により、平成 22 年度は 2 名の新規職員の採用を予定しております。

5 番、選挙人名簿についてであります。村選挙管理委員会は公職選挙法の規程により、平成 21 年 12 月 1 日現在の選挙人名簿を調整した結果、登録者総数 2,575 人、うち男性 1,207 人、女性 1,369 人で、前回の 9 月 1 日登録時より 1 人増となっております。

6 番、ふるさと納税寄附金につきましても報告いたします。ふるさと納税に伴う寄附金は、11 月末現在 18 名の方から総額 91 万 7,000 円となって、ご寄附をいただいております。ご寄附をいただきました方々に対し、心よりお礼を申し上げますとともに、この貴重な支援を大切に活用していきたいと考えております。寄附の内訳につきましては以下のとおりでございます。

7、地域おこし協力隊につきましてもご報告申し上げます。総務省の補助事業を活用し、八木沢集落の地域おこし協力隊を募集したところ、15 名の応募者が

ございました。書類選考会において審査した結果を踏まえ、10月28日に県の活力ある農村集落づくり推進チームのご協力を得て現地で説明を行った後、4名の方と面接いたしました。最終的には次の2名の方々が採用され、11月20日に来村され、同日付で委嘱状を交付しております。水原聡一郎さん、22歳、東京在住。榊本杉人さん、36歳、京都府在住の2名でございます。今後、八木沢集落の方々と一緒になって地域の活性化に向けて頑張ってくださいるものと期待しております。

8番、有償運送事業につきましてご報告申し上げます。八郎潟駅と上小阿仁間の有償運送事業は10月19日から運行を開始しております。利用状況は、10月、10間の運行で22名。11月、19日間の運行で21名の実績となっております。また、7月15日から開始しました大館能代空港、秋田内陸線へのデマンド型乗合タクシーは、11月末現在までの利用者数は、大館能代空港4名、秋田内陸線6名となっております。

9、高度情報化事業、光ファイバについてご報告申し上げます。現在、先の議員全員協議会でご協議願った事業内容、6億5,000万円を進めておりますが、県内9市町村一斉による事業導入となっていることから、光ファイバ路線図等の電気通信事業者との手続きが遅れてきております。村では、手続きが整いしだい東北総合通信局に書類を提出する予定ですが、国からは年度内完了が困難と見込まれていることから、平成21年度繰越事業として交付決定する旨説明がなされておりますが、これについては後ほどまたご説明する機会があります。

さて、住民福祉課関係でございますが、まず第1番は、定額給付金についてでございます。対象世帯が1,260世帯でありましたが、10月2日申請締め切りで申請件数世帯1,249件、振込金額4,838万円となりました。未申請の内訳は、死亡者7名（世帯）。宛名不明2名（世帯）。申請しない方2名（世帯）で未支給額が24万円でありました。

2番、「みんなの茶の間」の開設につきましてご報告申し上げます。自殺予防対策補助事業といたしまして、10月15日から地域センターと道の駅2階において、「みんなの茶の間」を開催しております。1人でも多くの方が集まっただけ、話し相手を見つけ楽しい1日を過ごしていただきたいと祈念しております。11月19日から、毎週木曜日10時から15時の間、地域センターにはボランティアの皆様がおります。ぜひ足を運んでいただきたいと思っております。来年度以降につきましては、各集落設置をも検討しておる状況でございます。

さて第3番、新型インフルエンザ予防接種につきましてご報告申し上げます。11月16日から優先対象者の基礎疾患の方から始めております。妊婦、基礎疾患を有している方、65歳以上の方、1歳未満の保護者については、1回接種と変更になっております。

第4、北秋田市上小阿仁村病院組合につきましてご報告申し上げます。10月27日に臨時議会が行われまして、北秋田市民病院の開院延期に伴い病床返上することによる補正予算が可決されております。また、夜間、休日の救急診療について、医師不足で救急体制の維持が困難であるとして、11月10日より休止することになりました。11月27日にも臨時議会が行われまして、人事院勧告による補正予算を可決いたしました。補正後の不良債務は2億9,394万9,000円で、21年度の市村負担額は、7億9,337万6,000円、上小阿仁分が1,141万6,000円となる見込みでございます。

5番、一般旅券、つまりパスポートの申請・交付事務についてございますが、10月1日から、権限移譲により住民福祉課窓口においてパスポートの申請・交付事務を行っております。11月30日現在で、申請件数は3件となっております。

次に産業課関係でございますが、稲作状況につきましては、東北農政局秋田農政事務所の発表によると、作況指数で、秋田県平均が99、県北が98と見込まれております。なお、11月5日現在のJAあきた北央の調べでは、本村の米出荷数は60キログラム袋換算で18,496俵、うち1等米比率は98.1%という良質米の生産実績となっております。

2、原木マイタケ植菌講習会につきましてご報告申し上げます。11月16日と18日の2日間にわたり、中茂のキノコ栽培場を会場に、原木マイタケ植菌実習講習会を開催いたしました。講習会には10名が参加していただきました。講師の松橋成海さんには、長年の研究と苦労によって確立された技術を教えていただきましたことに対して心から感謝申し上げます。今後、山間地域における木材の有効活用によるマイタケの栽培促進により、直販や加工、スローツーリズムの事業につながってくればと期待しておるところでございます。なお、この講習会は、松橋成海さんに引き続きご足労お願いする予定でございます。できるだけ多くの方々に参加されるようお願い申し上げます。

3、収入間伐事業につきましてご報告いたします。多々羅沢地区収入間伐事業の素材販売契約をしております。以上のとおりでございます。

4、スローツーリズムについて、これまで2回の村おこしフォーラムとワークショップにより、村の資源を発掘していただきました。

その中で、核となるものを道の駅にして検討したらどうかということになりました。提案していただいた、道の駅を村の産業と観光の拠点基地にするために、11月28日、日本総合研究所の金子和夫さんを講師に、関係者に参集していただきご意見をいただきました。今年度中にはこれまでの提案や意見を集約して、秋田スギ活用構想ビジョンとして将来の事業化につなげていく予定でございます。

5、農地災害復旧事業につきましてご報告いたします。平成21年7月18日から19日までの豪雨により被災した農道1箇所について、9月28日に査定を受け採択されました。災害復旧のための工事につきましては、11月15日入札を行い、平成22年2月25日までの工期で復旧工事をお願いしております。

さて6番、事業の発注状況についてでございますが、平成21年9月定例議会報告以降の発注状況については、次のとおりでございますのでご参照いただきたいと思います。

次、建設課関係でございます。工事などの発注状況について、平成21年9月定例議会報告以降の発注状況は、次のとおりでございますのでご参照いただきたいと思います。

さて、教育委員会関係でございますが、総務学校班関係では、まず第1に、東北へき地教育研究大会が盛会裏に終わりました。10月2日、東北各地から100名の先生方が参加され、東北へき地研究大会が上小阿仁小・中学校で開催され、2時間にわたって全学年の授業が公開されました。また、引き続き行われた全体研究会では、研究主任から小中併設校の特色を生かした「7年・9年間プラン」の提案や、小中の教職員が連携、交流を図りながら教育課程に独自の工夫を行い、授業改善に取り組んできた成果が発表されました。

参加者から先進的な日常実践の素晴らしさや、子供たちが生き生きと学習に取り組んでいる様子に感心したという感想発表があるなど、この大会に参加してよかったという声が数多く寄せられました。まことに結構なことでございます。

第2、学校支援地域本部事業の取り組みが全国発信することになりました。学校支援地域本部事業未実施の地域、学校に対して本事業の理解を促し、取り組みを喚起することを目的に、事例紹介DVD制作のための取材が10月13日に上小阿仁小学校で行われました。これは文部科学省の委託によって全国各地の9事例を紹介するもので、本校の場合は、正課クラブでの文化活動やスポーツなどの指導において、公民館活動を中心とした地域の社会教育と連携している事その取材ポイントでございました。

当日は15名の地域ボランティアの方々の指導の下に、生花、刺し子、自然観察、ユニカールの活動の様子が取材されました。また、10月22日には根岸県教育長も状況視察のため来校し、蔵書整理で奮闘中の図書館ボランティアの方々にねぎらいの声をかけて、感謝の言葉を述べておられました。

3、平成22年度全国学力テストの対応につきましてご報告申し上げます。平成19年度から始まった全国学力学習状況調査において、上小阿仁小・中学校の児童生徒は、3年間、全国トップレベルにある秋田県の結果をさらに上回る成績を上げてきました。しかし、その学力テストのあり方について文科省は、平成

22年度から従来の調査を変更し、40%、あるいはそれ以下の学級を対象とした抽出方式に切り替えることになったようであります。

この様な方針変更に伴い、もし抽出対象外になった場合、テストに自主参加するか否かについて、11月4日村教育委員会会議を開催して協議した結果、引き続き参加していくことに決定いたしました。執行部としても、これを全面的に支援する所存でございます。この主な理由といたしましては、①本村の子供たちの学力の実態が、他との比較により客観的に判断できること。②平成19年に小学6年であった子供たちが22年には中学3年となり、その間の学力の推移が測定でき、指導の反省に生かしていくことができること。③採点やデータ処理などで先生方に負担をかけることとなりますが、直接採点することによって、1人1人の学習状況が把握でき、指導に生かすことができるなどの意見が出されました。まことにもったもな事でございます。

第4、学習活動の交流・拡大に関する動向でございますが、本村の子供たちの教育課程の1つに、地域に埋没することなく、他校との交流活動を進めながら、いかに学習の拡大を図っていくかということでもあります。

しかしこれまで、北秋田市教育委員会の温かいご配慮により、先生方の研究活動はむろん、生徒会活動や部活動などなど、様々な分野で交流活動を行ってまいりました。2学期に入って、その活動が一層活発化し、10月24日に開催されました理科、社会科発表会では、理科2名、社会科1名の発表がございました。また、11月3日には北秋田市文化会館で開催された浜辺の歌音楽祭には中学3年生が出演し、「流浪の民」など3曲歌いましたが、講師の講評では、特に学校名をあげ、その合唱の完成度の高さやそれを成し遂げられた素晴らしさが高く評価されました。

一方、21年度全国中学生人権作文コンテスト県大会で、中学3年の齊藤さんが「未来の男女共同参画社会」で最優秀賞、つまり県教育長賞の荣誉に輝き、また、11月14日の「わかすぎ思考コンテスト」には、小学6年生2名、5年生5名が挑戦いたしました。その翌15日のPTA研修会では、先輩に学ぶ集會が開催され、講師の住友電工勤務の伊藤茂さん（堂川出身）が、光ファイバについての紹介と仕事を通じて思うことなどについて語っていただきました。また、さらに同日午後、中学3年生7名が大館鳳鳴高校で実施されました英語検定3級の2次試験に挑みました。ということでございます。

第5番に、上小阿仁小・中学校で新型インフルエンザが発生いたしました。秋田県内の多くの学校で新型インフルエンザが発生し、学級閉鎖や休校が相次いでいますが、11月4日、ついに上小阿仁小学校でも感染者が発生いたしました。学校では、直ちに保健だよりを発行して全家庭に周知を図るとともに、児童生徒にマスクの着用を奨励し、消毒液による手洗いやうがいを徹底するなど

の指導を行ってまいりました。しかし、その後徐々に感染者が拡大し、16日から小学校4年生、翌17日には小学3年生、そして12月3日からは中学2年生に、それぞれ学年閉鎖の措置がとられました。なお、臨時休業の基準は、当該学級で概ね10～15%以上の患者が発生した場合というガイドラインが示されておりまして、これに従って休校措置がとられたわけでございます。

いよいよ本格的な冬の到来で、季節型インフルエンザとともにますますの流行が心配されますが、その対応に万全を期するためにも、ウイルスを無力化する除菌効果があるハイブリット式加湿器を全学級に設置するための購入費を12月補正予算に計上いたしましたので、何とぞご理解の程をお願い申し上げます。

次に、生涯学習班関係でございますが、6番、体育の日の記念行事でスポーツの秋の満喫ということでございまして、10月12日、体育の日記念行事がふるさと公園で開催され、約100名の参加者がスポーツの秋を満喫いたしました。以下、省略いたします。

7番、多くの村民で賑わった生涯学習週間でございます。実りの秋の収穫を喜ぶとともに、1年間の学習の成果を一堂に会して生涯学習週間が、10月19日から25日まで開催されまして、作品展や学習発表会、親子映画鑑賞会、「としょかん d e リサイクル」など、様々な催しが行われ、多くの人たちでにぎわいました。

8番、第2期パソコン講座の開設についてご報告申し上げます。経済活性化事業を活用して、地域センターに8台のパソコンを導入し、8月に第1期パソコン講座がスタートいたしました。その第2期講座が11月11日から開催されましたが、今回も多く希望者がいて断ざるを得ない状況でございました。なお受講者は、通算9日間にわたってパソコンの基礎知識を学びながら、ワード、エクセルの基本操作やインターネット操作、ホームページ作成に挑戦するなど、熱心に技術の取得に励んでおられました。この基礎講座は継続する予定ですが、これに加え上級クラスの講座も開設することも検討中でございます。

さて、診療所関係でございますが、本年度10月末までの診療状況は、医科外来で1日平均57名、前年度比16名の増。歯科は1日平均10人で前年と同数となっております。地域住民の健康を守る唯一の医療機関として運営に努力してまいりますので、ご理解をお願いしたいと存じます。また、今年から村民の健康維持のために献身的にご尽力いただいております有澤先生に、改めて感謝申し上げます。

さて、杉風荘関係でございますが、11月18日現在の入所者数は、定員の86名で、本村出身者は41名となっております。

感染予防対策として、季節性インフルエンザの予防ワクチン接種を行い、予

防の徹底を図っております。新型インフルエンザにつきましては、優先接種順位があることから、ワクチン納入確保とあわせ、状況を見て今後予定いたしております。

7月から着工しております屋根改修工事が10月末に完成しております。

去る10月22日、本村出身の日本舞踊家元、歌川寿法氏による連続23回目のボランティア訪問公演をしていただきました。ご一行の皆様には感謝申し上げます。

以上でございます。

○議長（武石善治） これで行政報告を終わります。